

# 事務事業評価等による平成 25 年度当初予算への反映状況について

平成 24 年度に実施した事務事業評価等による平成 25 年度当初予算への反映状況をとりとまとめましたので公表します。

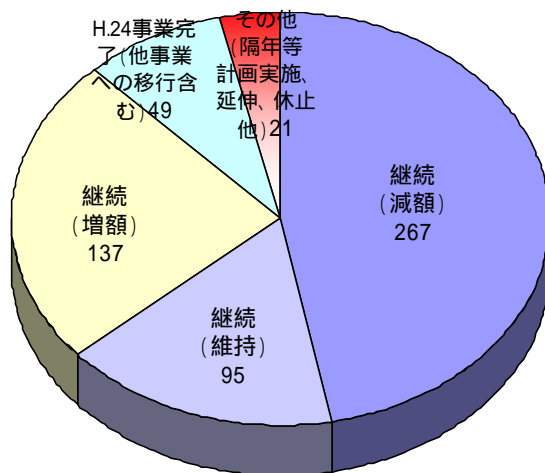
## 1. 平成 25 年度当初予算への反映状況について

平成 24 年度に評価した 634 事業のうち、平成 23 年度に完了した 65 事業を除く 569 事業について、内部評価並びに審査委員会及び市民の外部評価の結果を踏まえ、各担当室による事務事業の再点検や、可能な限り改善・見直しを行い、平成 25 年度の予算編成に活用しました。

なお、平成 25 年度の予算編成に向けては、外部評価を含めた事務事業の評価結果の活用に加え、行政評価(事務事業評価及び施策評価)の結果を踏まえ予算配分を行う「施策別枠配分方式」を導入し、継続事業のゼロベースからの見直しや施策の成果向上の観点から事務事業を再点検するなど、配分された財源の中で各施策の担当部室が工夫した予算編成を行いました。

- ・継続事業については、平成 24 年度当初予算額と平成 25 年度当初予算額の「一般財源」を比較して、反映状況を「継続(減額)」・「継続(維持)」・「継続(増額)」と区分しています。
- ・571 事業の内、「継続(減額)」(267 事業)は事務事業の見直しに伴うもののほか、内部経費の節減や年次計画による事業費の減少など、また、「継続(増額)」(137 事業)は政策的な事業推進や対象者の増加などによるものです。
- ・引き続き、事務や事業のあり方、実施手法など、執行過程の再点検や検証に努め、事務事業の最適化に向けた取組を進めていきます。

平成 25 年度当初予算への反映状況



区分	事業数
継続(減額)	267
継続(維持)	95
継続(増額)	137
H.24 事業完了(他事業への移行等含む)	49
その他(隔年等計画実施、延伸、休止他)	21
合計	569

## 2. 平成24年度事務事業評価等の実施状況について

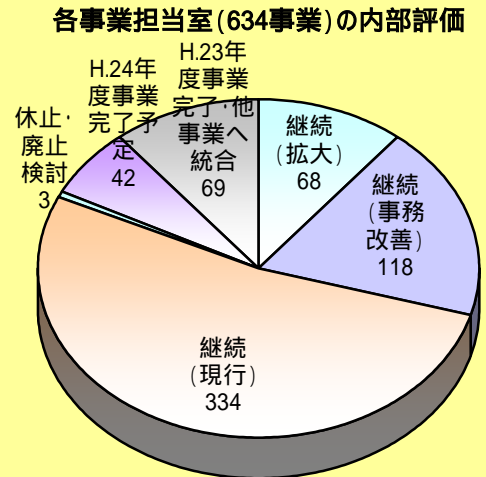
### 内部評価

内部評価は、事務や事業の担当室による自己評価です。年度が終了した後に、それぞれの事務事業について、必要性、効果・効率等の観点から、今後の事業の方向性（改善、廃止・休止検討など）の考え方など点検・評価の結果について記載し、事務事業シートを作成しています。

平成24年度は7月にシートを作成し、作成した全てのシートを同月より市ホームページ等で公表しました。

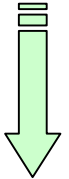
平成24年度  
内部評価  
(公表)

- 各担当室が事業の検証・点検を行い、工夫・改善に向けて評価を実施しました。
- 平成23年度より評価対象事業を拡大（特別会計及び組合会計について、予算の小事業でシート作成）し、634事業の点検・評価を行いました。
- 各担当室の内部評価では、634事業のうち、334事業(52.7%)は「継続(現行)」、118事業(18.6%)は「継続(事務改善)」の評価でした。



### 外部評価

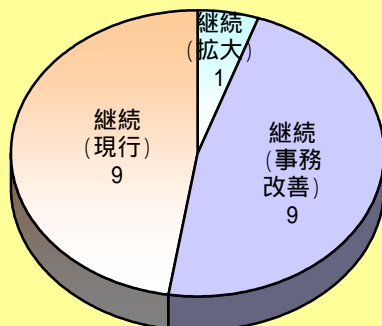
各担当室が作成し、公表した事務事業シート（内部評価）について、市民意見の募集を1カ月間行うとともに、抽出した19事業について審査委員（外部の学識経験者）が専門的観点から評価を行う事務事業ヒアリングを公開で実施しました。



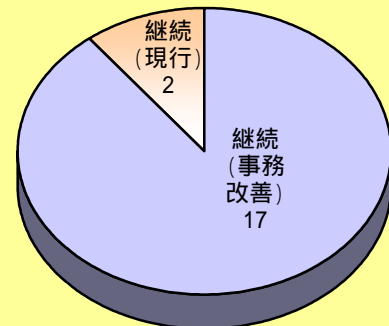
平成24年度  
外部評価  
(審査委員会  
公開ヒアリング)

- 事務事業シートを作成した634事業の中から、「新しい公」の視点や有効性・効率性を高めるなどの観点から抽出し、19事業を選定しました。
- 事務事業の公開ヒアリングは、各担当室が内部評価(事務事業シート)の説明を行い、審査委員(学識経験者)がその成果や必要性などを聴き取りました。(平成24年7月30日・31日、8月6日)

抽出19事業の内部評価  
(各担当室による評価)



抽出19事業の審査委員会評価

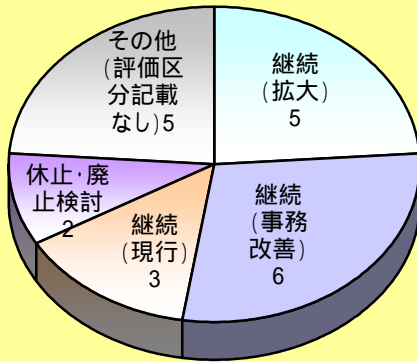


抽出した19事業については、平成24年10月に審査委員会から市長へ報告書が提出されました。報告書は、行政改革推進室のホームページで公開しています。

- ヒアリング対象事業の内部評価における「継続(現行)」は9事業(47.4%)ですが、委員会評価では2事業(10.5%)となりました。
- 引き続き、職員の意識改革と、事業の取捨選択など工夫をしながら、名張の価値の底上げに繋がる事業推進に努めるよう意見をいただきました。

外部評価  
(市民による評価)

### 市民意見募集結果

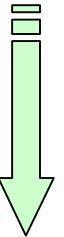


- 各事業担当室の内部評価(事務事業シート)に対して、市民意見を募集しました。(平成24年7月22日～8月21日)
- 考査委員会の公開ヒアリング会場で、9名・21件の評価・意見が提出されました。

市民の皆さんから寄せられた事務事業に対する評価及び意見要旨は、行政改革推進室のホームページで公開しています。

### 評価の活用

平成25年度の予算編成に向けては、外部評価を含めた事務事業の評価結果の活用に加え、行政評価(事務事業評価及び施策評価)の結果を踏まえ予算配分を行う「施策別枠配分方式」を導入し、継続事業のゼロベースからの見直しや施策の成果向上の観点から事務事業を再点検するなど、配分された財源の中で各施策の担当部室が工夫した予算編成を行いました。

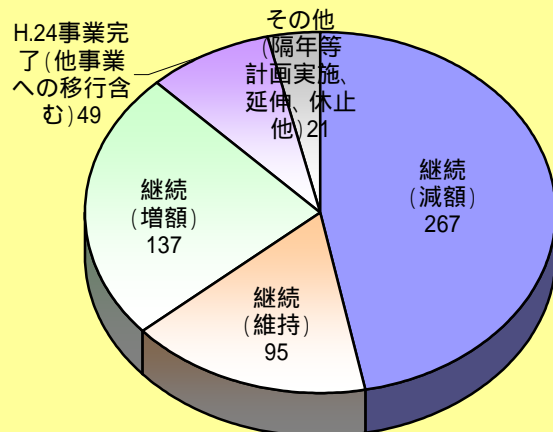


### 平成25年度当初予算への反映状況

各担当室による再点検  
改善・見直し  
予算要求

予算編成

- 平成24年度に評価した634事業のうち、平成23年度に完了した65事業を除く569事業の当初予算への反映状況は、右図のとおりとなり、267事業は「継続(減額)」となりました。



平成25年度の取組

### 予算の執行

内部評価(各担当室による事務事業シート作成[自己評価]) 新規事業含む。



外部評価(市民による評価)



評価の活用(平成26年度予算編成)

(名張市 企画財政部 行政改革推進室)